

令和6年度  
臨時総会

開催日時 令和7年3月27日（木）午後6時30分～

開催場所 神奈川県総合薬事保健センター3階303・304号室  
横浜市磯子区西町14番11号

第1号議案 令和7年度事業計画（案）について P.1～P.4

第2号議案 令和7年度収支予算（案）について P.5～P.6

一般社団法人 横浜市薬剤師会

# 令和7年度事業計画（案）

（令和7年 4月 1日～令和8年 3月31日）

## 1. 地域保健事業

### （1）地域包括ケアシステム構築への協力と推進

地域包括ケアシステムの向上に向け、横浜市の施策に積極的に参画する。横浜市の施策立案段階から積極的に関わり、地域薬剤師会と連携を図りつつ、フレイルや糖尿病対策、疾患別医療・介護連携事業など横浜市における健康づくりや在宅医療推進の取り組みに積極的に参画する。令和7年度は、フレイル事業の対象区の拡大と新たな認証薬局制度を開始する。

在宅医療を担う薬剤師の確保と育成のための研修を実施し、多職種連携を支援する。

在宅医療協力薬局の情報検索システムを運用するとともに、小児在宅医療（医療的ケア児を含む）や医療用麻薬及び無菌製剤調製など療養に必要な機能の充実を目指す。

### （2）学校薬剤師としての学校保健活動の推進

①横浜市教育委員会より委嘱された学校薬剤師により、市内の児童生徒・教職員等の安全な生活環境の整備を行う。定期的な環境衛生検査（給食室・プール水質・空気・照度・ダニアレルゲン等）を実施し、指導助言を行う。

②児童生徒・教職員等を対象とした薬物乱用防止啓発教室、くすりの適正使用教育、未成年者飲酒予防、未成年者喫煙予防について講師を派遣する。

③横浜市学校保健会等の行政設置機関に委員を推薦する。

④学校薬剤師の資質向上に資する研修会を開催する。

### （3）横浜市禁煙支援薬局事業の実施

横浜市と協力して、禁煙支援と受動喫煙防止に取り組む。

### （4）公衆浴場水質検査

公衆浴場の浴槽水（白湯、温泉、薬湯）のレジオネラ属菌等についての検査業務を浴場協同組合から受託し、検査を行う。

### （5）緊急避妊薬の適正販売に係る調査事業

日本薬剤師会が実施する調査研究事業に参加する。

### （6）重複投薬者対策

重複投薬者の情報を横浜市国保に提供し、横浜市の対策に協力する。

## 2. 災害・健康危機対策事業

横浜市との協定に基づき、災害時における横浜市が実施する医療救護に協力する。災害時の支援活動を円滑に実施するため、災害時薬剤師活動マニュアルを整備するとともに、安否確認訓練を実施する。

他地域の災害においては、日本薬剤師会・神奈川県薬剤師会・横浜市からの要請により、会員の派遣、モバイルファーマシーの出動を行う。

(1) 災害用備蓄医薬品等の管理保管

災害用備蓄医薬品等の管理保管事業に登録している会員薬局(リスト管理薬局並びに協力薬局)の協力により、発災時には迅速に持ち出しができるよう、リスト管理医薬品を管理する。また、講習会を開催するとともに、災害時の対応や地域との連携について情報提供を行う。

(2) 災害応急用井戸水簡易水質検査

災害時の生活用水の確保を目的とした横浜市の委託事業で、横浜市が指定した災害応急用井戸を対象に薬剤師による簡易水質検査を行う。

(3) モバイルファーマシーの運用

災害時は、薬剤師を派遣し、横浜薬科大学及び横浜市災害対策本部と連携をして運用し、平常時は、横浜薬科大学と連携して、災害対応訓練・研修、薬剤師の職能のPR、薬学生の実務実習、医薬品の適正使用などの啓発活動に運用する。

他地域における災害に際しては、日本薬剤師会・被災都道府県薬剤師会からの要請に基づき、モバイルファーマシーを派遣するなど、被災地の薬事支援に努める。

(4) 感染症対策への協力

会員薬局の協力により、結核患者服薬支援事業(DOTS)の支援を行う。

横浜市新型インフルエンザ対策に協力し、医療従事者の予防内服薬の供給のため、抗インフルエンザ薬を備蓄する。

新興感染症の流行の際には、横浜市の対策に積極的に協力する。

(5) 水害時の衛生対策協力薬局

横浜市との協定に基づき水害時に消毒剤の配付・使用方法の助言を行う。

### 3. 薬物乱用防止キャンペーン事業の実施

横浜市、横浜薬科大学との3者主催により、薬物乱用防止キャンペーン事業を実施する。

また、政令指定都市薬剤師会と合同で全国的統一キャンペーンを実施する。

### 4. 研修事業

(1) 学術研修会の開催・薬剤師生涯教育の推進

薬剤師を対象に、医薬品の適正使用や専門知識を深めるため研修会を行う。他分野の有識者による研修会を企画する等で生涯教育を進める。

(2) 薬学生実務実習の実施

薬学生の薬局での体験実習を支援する。実習期間の充実を図るため、合同研修会を実施する。

(3) 健康サポート薬局研修

健康サポート薬局の認定に必要な健康サポート薬局研修を実施する。

(4) 在宅医療に係る各種研修

認知症対応力向上研修やACP研修会など、横浜市の協力を得ながら在宅医療にかかる研修を実施する。

(5) 災害薬事研修

災害時に薬剤師に求められる職能を存分に発揮できるよう、災害薬事に関する研修を実施する。

## 5. 夜間急病センターの調剤・管理業務

横浜市救急医療センター、横浜市北部夜間急病センター及び横浜市南西部夜間急病センターに毎夜間薬剤師を派遣し、調剤業務及び医薬品等の管理を実施する。薬剤師の資質の向上に資すると共に救急医療の円滑な遂行を図り、もって市民の救急医療に貢献する。

## 6. 市民のための健康教育、情報提供活動の推進

(1) 各区主催の健康月間行事、お薬相談会の実施

地域薬剤師会の協力により、相談事業を行うほか、広報委員会を通じて薬剤師の地域活動を啓発する。

(2) 高齢者健康啓発

区福祉保健センター等と連携し、高齢者の薬の服用についての講演、お薬相談等を実施するとともに、啓発冊子の作成やシルバークフェスティバルを開催する。

地域薬剤師会の協力により、シニア大学の講師として薬剤師を派遣する。

横浜市との共催により、薬草探索健康ウォーキング事業を開催する。

(3) 医療廃棄物回収システム事業の推進

会員薬局の登録を推進し、市民の需要に対応する。

横浜市資源循環局の要請により、おくすりシートリサイクルプログラムに参加する。

(4) ホームページによる情報提供

健康サポート薬局、禁煙支援薬局、在宅医療協力薬局などの情報をホームページに掲載し、薬局の機能に関する情報を市民に提供する。

## 7. 会員事業

(1) 会員証・会報発行とホームページの運営

会員証の有効活用を検討する。

会員薬剤師への情報提供、会員同士の交流、親睦を図るため、会報を発行する。

ホームページに会員ページを設置し、研修会開催案内等会員向け情報提供を行う。

LINEオープンチャットによる会員への情報提供を行う。

(2) 委員会活動の活性化

地域活動を推進するため、各委員会には、その分野に精通した人材を各地域薬剤師会から選出することで、薬剤師のニーズに沿った組織づくりを目指す。

(3) 薬事業務並びに知識に関する指導

関連法規や調剤報酬の改定における行政や関連機関からの情報提供を速やかに会員へ周知する。保険調剤を適正に行うため、必要に応じて伝達講習会を開催する。

## 8. 関係団体との連携活動

政令指定都市薬剤師会との連携を図る。横浜市医師会、横浜市歯科医師会、横浜市病院協会等と定期的に情報交換を行う。また、横浜高齢者健康福祉財団へ理事、委員を推薦する。

## 9. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

令和7年度 一般会計収支予算(案)

令和7年4月1日～令和8年3月31日まで

単位(千円)

款	項	目	予算額	前年度予算額	(参考:決算見込額)	予算増減	摘要
<b>I 事業活動損益の部</b>							
1.事業活動収益	1.会費収益		44,090	43,979	43,736	111	
		1.正会員 I	34,365	34,159	34,195	206	@34,400x993人 (R7.2.4現在会員数)
		2.正会員 II	4,323	4,418	4,140	△ 95	@5,600x772人 (R7.2.4現在会員数)
		3.賛助会員	322	322	321	0	@9,200x35人 (R7.2.4現在会員数)
	4.学校薬剤師	5,080	5,080	5,080	0	10,000円508校分 (R6同数)	
	2.入会金収益		1,874	1,330	1,874	544	
		1.正会員 I	1,012	580	1,012	432	R6決算見込
		2.正会員 II	692	550	692	142	R6決算見込
		3.賛助会員	10	0	10	10	R6決算見込
	4.会員証事務手数料	160	200	160	△ 40	変更による入会、再発行 80名	
	3.事業収益		107,971	90,088	100,430	17,883	
		1.夜間急病センター	58,203	54,532	56,987	3,671	出勤費49,431,987円、 車代5,932,000円
		2.井戸水調査料	3,300	3,200	3,300	100	R6決算見込
		3.災害時医薬品備蓄	16,816	12,500	16,816	4,316	リスト管理14,806、イン フル1,640 MP貸出370
		4.公衆浴場水質検査料	3,051	2,570	3,051	481	R6決算見込
		5.学校環境調査料	19,565	17,286	17,786	2,279	プール検査15,574、ダ ルグン検査2,252
	6.フレイル予防事業	7,036	0	2,490	7,036	ミニ健康講座3,727、通 所型講師派遣3,108 対象区 3区⇒10区	
	4.補助金等収益		22,816	21,447	22,616	1,369	
		1.医療事業推進協力	9,653	8,730	9,653	923	医療費助成推進8,290, 認知症440,適正使用475, 糖尿病448
		2.生活保護医療	100	100	100	0	R6同額
		3.高齢者健康福祉	2,988	2,988	2,988	0	R6同額
		4.学校保健会助成金	148	97	148	51	部会事業助成費40,125円 大会派遣費107,750円
		5.お薬手帳負担金	200	0	0	200	R7制作予定 横浜市負担金20万円
6.地域薬剤師会連携費		7,927	7,732	7,927	195	R6実績:市薬7,927,000	
7.政令指定都市薬剤師会 事務負担金	1,800	1,800	1,800	0	R6同額		
5.自主事業収益		5,079	5,338	5,103	△ 259		
	1.研修会	4,779	5,018	4,763	△ 239	学術60,健サポ150, 実務実習4,529,無菌調製 40	
2.お薬手帳	300	320	340	△ 20	R7見込 15,000冊想定		
6.職員退職引当金 取崩収益		0	1,000	0	△ 1,000		
1.退職引当金取崩収益	0	1,000	0	△ 1,000			
7.雑収益		570	1,001	232	△ 431		
	1.預金利子収益	350	1	12	349	利付国債金利(0.7%)350	
2.雑収益	220	1,000	220	△ 780	R6決算見込		
事業活動収益計			182,400	164,183	173,991	18,217	
2.事業活動費用	1.事業活動費用		180,077	159,520	160,233	20,557	
		1.役員報酬	3,652	3,652	3,652	0	11名×12か月
		2.給料手当	37,743	39,004	32,288	△ 1,261	R7積算額
		3.退職給付費用	8,402	2,613	2,613	5,789	R7積算額
		4.法定福利費	5,629	5,705	6,206	△ 76	R7積算額
		5.福利厚生費	150	150	318	0	R6予算同額
		6.会議費	2,749	3,192	2,749	△ 443	R6決算見込
		7.日当旅費交通費	6,584	9,336	6,584	△ 2,752	R6決算見込
		8.通信運搬費	2,595	2,575	2,595	20	R6決算見込

	9.減価償却費	238	238	238	0	R6決算見込
	10.備消耗品費	2,836	3,269	2,836	△ 433	R6決算見込
	11.修繕費	367	118	367	249	R6決算見込
	12.印刷製本費	3,628	1,771	1,628	1,857	R6決算見込 +お薬手帳2,000
	13.光熱水費	420	371	420	49	R6決算見込
	14.賃借料	6,206	6,268	6,206	△ 62	R6決算見込
	15.保険料	439	352	439	87	R6決算見込
	16.中退共掛金	720	480	360	240	加入者増
	17.諸会費	376	396	376	△ 20	R6決算見込
	18.租税公課	4,093	5,000	4,093	△ 907	R6決算見込
	19.支払報酬費	48,555	43,034	48,555	5,521	R6決算見込
	20.支払委託費	29,102	17,280	22,117	11,822	R6決算見込+フレイル各 区委託料6,985
	21.支払負担金補助金等	9,714	8,005	9,714	1,709	R6決算見込
	22.支払手数料	2,707	2,225	2,707	482	R6決算見込
	23.交際費	2,815	3,198	2,815	△ 383	R6決算見込
	24.慶弔費	136	44	136	92	R6決算見込
	25.寄附金	0	0	0	0	R6決算見込
	26.雑費	221	244	221	△ 23	R6決算見込
	27.退職金		1,000	0	△ 1,000	
事業活動費用計		180,077	159,520	160,233	20,557	
事業活動損益差額		2,323	4,663	13,758	△ 2,340	
II 投資活動損益の部						
1.投資活動収益						
投資活動収益計		0	0	0	0	
2.投資活動費用						
投資活動費用計		0	0	0	0	
投資活動損益差額		0	0	0	0	
III 財務活動損益の部						
1.財務活動収益						
財務活動収益計		0	0	0	0	
2.財務活動費用						
財務活動費用計		0	0	0	0	
財務活動損益差額		0	0	0	0	
IV 他会計繰入金収益		0	0	0	0	
IV 予備費		3,000	3,000	0	0	
当期正味財産増減額		△ 677	1,663	13,758	△ 2,340	
正味財産期首残高		206,805	196,771	193,047	10,034	
正味財産期末残高		206,128	198,434	206,805	7,694	